

## 人口ビジョン、まち・ひと・しごと総合戦略に対する議会の対応について

2015年9月1日

会派・希来里 奴間健司

### <具体的対応について>

- ① 9月定例会の最終日に、総合戦略を検討する特別委員会を設置する。議長を除く議員18人で構成し、設置期間は任期中とする。(総合戦略が5年計画であることを考慮する)  
付託案件は、「人口ビジョン、まち・ひと・しごと総合戦略に関すること」という趣旨で良いと思う。
- ② 9月定例会の会期中に総合戦略の「素案」の提示があった場合は、総務委員会で審議する。その上で、議会全員協議会を開き執行部から「素案」の説明を受け、質疑を行う。

### <会派としての主張>

1 わが会派の見解は、6月議会で特別委員会を設置し、総合戦略の策定過程から議会として検討すべきであるというものであった。会派代表者会議で当初から主張してきた。

しかし、一部会派は「状況がまだはっきりしていない」等々の趣旨で6月議会特別委員会設置に賛同しなかった。総合戦略めぐる動向の把握・理解が不十分であり、議会の迅速な対応を逃す原因となった。

また、議長就任の所信に特別委員会設置を盛り込んだ議長には、6月議会での設置に躊躇する会派を説得して欲しかった。

2 今回の人口ビジョンと総合戦略は2014年末に政府から策定を求められた。新型交付金をちらつかせ、短期間に策定を求めるやり方は、極めて中央集権的な手法であると思う。振り回されるべきではない。

古賀市がそもそも主体的に取り組もうという政策とマッチするなら、総合戦略に盛り込み財源を確保することは理解できる。古賀市にとってマッチせず、交付金を獲得するための事業をやろうとするなら賢明な選択とは言えない。総合戦略とは程遠く、交付金申請書を作るということになっていないか心配である。第4次マスタープランの検証、後期基本計画の検討・策定を後回しにすることがあってはならない。

このへんのチェックが議会の役割と言える。

3 特別委員会の役割は、人口ビジョン・総合戦略の策定過程やその進捗についてチェックすること、地方創生に関する議会としての意見を伝えることなどであると思う。

4 特別委員会での審議方法について、各常任委員会に分割付託ないしは分科会形式で進めるという意見が一部にある。総合戦略は一体的なものであり、分割して審議する方法については賛成できない。

5 今回の人口ビジョン・総合戦略の策定を求めた国に対し、地方の現場の状況を踏まえ、必要に応じて意見書等を国会、政府に対し提出することも議会の重要な役割になると考える。また議決事件に追加するかどうかは各会派、議員で慎重に検討されることを希望する。